

教育

## 教育・文化

### 【課題】

B-1 これからの時代に求められる資質・能力の育成

### 【現状と必要性】

#### （小中学校におけるICT環境の現状）

- ・本町では、平成27年度に町内全学校のパソコン教室のパソコン（デスクトップ型）をタブレットパソコンへ入れ替え、各学校へ書画カメラを配備、また、平成28年度にはモデル校（古仁屋小・中、阿木名小中）に大型テレビ及び学習ソフトサーバを導入し、ICT環境の整備に取り組んできた。
- ・現在までのICT環境整備状況は、各学校にパソコンルームを設置し、児童生徒用タブレットパソコンを配備、各学校1台以上の大型テレビの整備を行った。しかし、各教室への大型提示装置、書画カメラの常設や無線LAN整備、児童生徒用タブレットの不足などICT環境整備は喫緊の課題である。
- ・また、校務用パソコンの配備も十分ではなく、校務支援ソフトの導入やセキュリティポリシーの策定及び実施により、情報漏えいや安全性の高いシステム構築を図らなければならない。

瀬戸内町のICT環境整備の実態調査  
（平成29年11月現在）

	瀬戸内町	鹿児島県	目標値
教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	7.0人	4.3人	3.6人
電子黒板のある学校の割合	100%	76.0%	100%
普通教室の電子黒板整備率	18.1%	21.2%	100%
普通教室の無線LAN整備率	15.8%	55.4%	100%
教員の校務用コンピュータの整備率	80.1%	109.1%	100%

### 【KPI】

次世代を担う子どもたちが健やかに成長している

基準値  
(2018年度)

49.1

⇒

目標値  
(2023年度)

80.0

### 【SDGs】



### 【基本計画】

#### ■次世代に向けた教育環境の整備

事業計画	期間 (令和元年度～令和5年度)
I ICT機器を活用した教育 ⇒（主な施策） ① タブレット端末の活用 漢字練習アプリや計算ドリルアプリにより、朝学習や個別学習の場面で繰り返し学習することができる。 ② 教室のICT環境整備 動画や画像をみせることで学習内容を分かりやすく説明することができる。 子どもたちが情報や情報手段を適切に活用できる能力を育成すると同時に児童生徒の興味関心を高めつつ、全ての子どもにとってより分かりやすい授業を展開する。 大型提示版装置、書画カメラ、無線LAN環境校務用パソコン、校務支援システムAIロボットの導入、プログラミングの実践	令和元年度～令和5年度  令和元年度～令和5年度
関連する計画 「瀬戸内町教育情報化推進基本計画」	
II 国際理解教育 ⇒（主な施策） ① 外国青年招致事業 グローバル化社会を生きるために必要な資質や能力を養うことを目的にALTを活用し、英語教育を推進する。英語暗唱大会の実施等	令和元年度～令和5年度
III 自然環境・景観の保全教育 ⇒（主な施策） ① 瀬戸内町子ども世界自然遺産博士号講座 身の周りの自然や動植物とふれあいながら学ぶことによって自然保護のこころを育むと共に「奄美大島、徳之島、沖縄北部及び西表島」世界自然遺産登録に興味を持ち、自ら考え行動できる児童生徒を育成する。 ② せとうち子ども検定試験 町内に残された貴重な自然・文化・歴史等を次世代を担う子どもたちに伝える。	令和元年度～令和5年度  令和元年度～令和5年度

教育

教育・文化

【課題】

B-2 子どもを育てる施設・環境

【現状と必要性】

（給食の現状）

- ・加計呂麻島への給食配送は、悪天候によるフェリーの欠航等により配送車の輸送が困難な場合があり、貸切船や公用車等の代替手段にて配送をしている。
- ・本町の請島・与路島の学校給食は、自校給食であり、自校給食を実施している学校においては、人材の確保、調理機器設備の老朽化や衛生管理が課題となっている。
- ・給食調理においては、いろいろなアレルギー対策が求められている。
- ・施設や設備の管理基準、さらには衛生管理基準等をクリアした施設建て替えを実施する必要がある。

（学校施設の現状）

- ・学校施設の現況については、築後40年以上経過した校舎及び体育館等が全体の大部分を占めており、雨漏りや外壁等のコンクリートの剥離など、老朽化が進んでいる。
- ・教員住宅についても、老朽化が進み、その維持改修に多くの費用を強いられている。

【KPI】

子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携がとれている

基準値  
(2018年度)

31.9

⇒

目標値  
(2023年度)

55.0

【SDGs】



【基本計画】

■教育環境の整備充実

事業計画	期間 (令和元年度～令和5年度)
I 給食センターの機能充実（官民連携も含む） ⇒（主な施策） ① 給食センターの運営 学校給食の安全供給に努める。 ② 給食センター建設事業 児童生徒の安心・安全な食育のために老朽化した給食センターの建て替えを検討する。	令和元年度～令和5年度 令和元年度～令和5年度
II 学校施設等の充実 ⇒（主な施策） ① 小中学校の校舎及び体育館、教員住宅の改修 児童生徒が安全で安心した学校生活を送れるよう、児童生徒数の推移や学校間の均衡をはかりながら改築及び大規模改修事業を実施する。 ② 教育環境の整備 児童生徒の学力の向上等に向け、必要な整備を行う。学習教材、教室環境等	令和元年度～令和5年度 令和元年度～令和5年度
III 「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒 ⇒（主な施策） ① 心豊かな人材の育成 子どもたちが安全で安心して活動できる居場所（活動拠点）づくりの充実を図る。 放課後子ども教室、学童保育、特別支援員等	令和元年度～令和5年度
IV 児童・生徒の減少対策 ⇒（主な施策） ① 児童・生徒留学制度への支援 ・にほんの里・加計呂麻留学制度 ・与路小・中学校留学里親制度 町外に住む家族等が、加計呂麻島、請島、与路島へ転入し、自然豊かな島で地域の人々との触れあいを通して、子どもたちの豊かな人間性を育む。経済的負担を軽減する。 ② スクールバスの運行 児童生徒の通学負担の軽減を図る。	令和元年度～令和5年度 令和元年度～令和5年度

関連する計画  
「瀬戸内町教育大綱」

教育 教育・文化

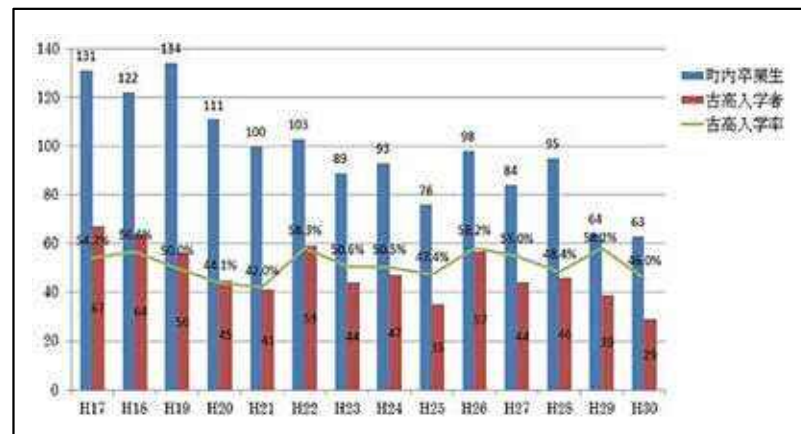
【課題】

B-3 古仁屋高等学校の活性化

【現状と必要性】

（古仁屋高等学校生徒数の推移）

- ・古仁屋高等学校への入学希望者が減少している。
- ・人口減少に伴い、町内中学生も減少している。
- ・現状の推移をたどると、生徒数は100名を切ることが予想される。
- ・生徒数が少ないと生徒が望む部活動が維持できない。



（古仁屋高等学校生徒の活動支援）

- ・古仁屋高等学校への支援（助成事業）は今後も必要である。
- ・支援（助成事業）について、早めに町内、近隣の町村へPRした方がよい。

【KPI】

次世代を担う子どもたちが健やかに成長している

基準値  
(2018年度)

49.1

⇒

目標値  
(2023年度)

80.0

【SDGs】



【基本計画】

■古仁屋高等学校の振興対策

事業計画	期間 (令和元年度～令和5年度)
I 通学が困難な生徒の受入体制 ⇒（主な施策） ① 学生寮等の整備・運営 町外をはじめ、加計呂麻島・請島・与路島など、高校へ通学が困難な生徒を受け入れるため、学生寮の充実を図る。下宿受入先も拡大する。 ② ふるさと留学扶助 高校へ子どもを送り出す保護者の経済的負担軽減のため、留学に係る費用の一部を支援する。	令和元年度～令和5年度  令和元年度～令和5年度
II 地元中学生等の入学率向上 ⇒（主な施策） ① 町内中学生及び保護者に向けた説明会 町内中学卒業生の古仁屋高等学校入学率を引き上げることを目指す。 ② 小中学校等との交流連携活動の推進 ・小中学生とのスポーツ交流 ・地域課題を考える場の設置（ワークショップ） ・青年団など地域の大人との連携 ③ 町外中学生等へ向けたPR活動 郷友会等で本町2世・3世へも入学の呼びかけを行う。	令和元年度～令和5年度  令和元年度～令和5年度  令和元年度～令和5年度
III 古仁屋高等学校振興対策 ⇒（主な施策） ① 生徒の通学等に係る支援 古仁屋高等学校に通学する生徒の交通経費を軽減する。 ② スポーツ・文化活動等に係る支援 古仁屋高等学校生の健全な育成と教育の振興をとおして豊かで個性ある町づくりに資する人材育成を図ることを目的とする。 ③ 古仁屋高等学校地域応援団補助 古仁屋高等学校の魅力化向上に資する事業に対し支援する。古仁屋高等学校PRポスター作成 ④ その他振興対策に資する支援 修学旅行費助成、各種検定試験等受験助成 ⑤ 古仁屋高等学校振興対策協議会 古仁屋高等学校の振興・発展を支援するための様々な事項について検討する。	令和元年度～令和5年度  令和元年度～令和5年度  令和元年度～令和5年度  令和元年度～令和5年度

教育

## 教育・文化

【課題】

B-4 生涯学習環境の充実と伝統文化の継承

【現状と必要性】

（生涯学習の重要性）

- ・現在、本町の生涯学習の基本的な方向性としては、「生きる喜びを育む生涯学習」、「郷土の心を伝える文化活動」を力点として、きゅら島交流館、図書館郷土館、埋蔵文化財センター（仮称）などの施設において、講座・教室・講演会等、各年齢層に応じた様々な取り組みを実施している。
- ・近年の社会を取り巻く環境は、少子高齢化、高度情報化、価値観の多様化などにより大きく変化する中、「心の豊かさ」や「生きがい」などを求めて、人々の学習に対するニーズはますます増大し、生涯学習への関心は高まりを見せている。
- ・今後の生涯学習の実施にあたっては、様々な学習機会の提供や学習の成果を生かす環境づくりなど、公民館活動や地域コミュニティ活動の充実を図り、総合的な生涯学習環境づくりを進めていく必要がある。



瀬戸内町きゅら島交流館  
（平成30年3月完成）

【KPI】

	基準値 (2018年度)		目標値 (2023年度)
伝統文化や郷土を大切にしている	64.3	⇒	75.0
生涯学習の場が充実している	29.0	⇒	50.0

【SDGs】



【基本計画】

■さまざまな分野において生涯にわたり学習できる環境づくり

事業計画	期間 (令和元年度～令和5年度)
I 島口、伝統文化の継承・支援等 ⇒（主な施策） ① きゅら島交流館活動 町民が生涯学習を行える場として、シマの伝統文化等が継承されている。 子ども島口伝統芸能大会、公民館講座など	令和元年度～令和5年度
II 読書をととした生涯学習 ⇒（主な施策） ① 図書館活動 ブックスタート、セカンドブック等 生涯にわたり自ら学び考える人格育成のため、幼少期からの読書体験を重要視する。	令和元年度～令和5年度
III 自然体験をととした生涯学習 ⇒（主な施策） ① 請阿室自然体験事業 請島の豊かな自然環境の中で、野外活動や自然観察、集団生活を行い、自然の大切さを学ぶ。	令和元年度～令和5年度
IV 埋蔵文化財の発掘・保全の促進 ⇒（主な施策） ① 近代遺跡（戦跡）調査 文化財の発掘、調査・保存等に努め、文化財保護についての普及啓発活動に取り組む。	令和元年度～令和5年度
V スポーツをととした生涯学習 ⇒（主な施策） ① 生涯スポーツの充実 子どもから高齢者まで「町民ひとり1スポーツ」を推進し、健康増進や生涯スポーツの充実を図る。 せとうち満天クラブ、プレ・ゴールデンエイジ	令和元年度～令和5年度
VI 生涯学習における人材育成 ⇒（主な施策） ① 生涯学習リーダー育成 活力ある地域づくりのために、自ら主体的に取り組む社会教育関係団体の指導者等を育成する。	令和元年度～令和5年度

教育

## 教育・文化

【課題】

B-5 気軽にスポーツを楽しめる環境

【現状と必要性】

（スポーツを楽しむ環境の現状）

・現在、町民の「スポーツ・レクリエーション」活動の場として、広く利用されている「清水公園」の運動施設は、陸上競技場、総合体育館、テニスコート、遊具施設等で構成されており、健康増進・生涯スポーツの拠点施設として機能している。しかしながら、当該施設においては、設置から今日まで30年余りが経過し、施設の老朽化等から、町民や競技団体から施設の整備に関する要望も多く、特に、陸上競技場や総合体育館は、大規模改修等が必要な状況となってきた。

このようなことから、「清水地区文化スポーツ村（仮称）建設検討委員会」を設置し、各種施設の改修などによるリニューアルを行い、利用者のニーズに応える必要がある。



【清水公園の現状】

陸上競技場（昭和60年建設）

陸上400mトラック、野球、ソフトボール、サッカー、ラグビー等

総合体育館（平成元年建設）

バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球等

テニスコート

オムニコート6面

遊具施設

【清水公園の利用】

町民体育大会の開催、大島地区大会の開催、スポーツ少年団の利用等

【KPI】

みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている

基準値  
(2018年度)

27.7

⇒

目標値  
(2023年度)

45.0

【SDGs】



【基本計画】

■清水運動公園の整備

事業計画	期間 (令和元年度～令和5年度)
<p>I 運動を楽しむための施設整備 ⇒（主な施策）</p> <p>① 清水公園の総合的な見直しの実施 「清水地区文化スポーツ村（仮称）建設検討委員会」による、施設の抜本的な見直しを行う。</p> <p>② 清水公園の環境整備 「町民一人1スポーツ」を推進し、健康増進や生涯スポーツの充実を図るため、清水公園のより豊かなスポーツ環境の整備を図る。 また、町民の健康維持増進、生きがいづくり、世代間の交流を育む施設として位置付ける。</p>  <p>（町民体育大会の開催）</p>	<p>令和元年度～令和5年度</p> <p>令和元年度～令和5年度</p>
<p>II 運動を楽しむための活動及び人材育成 ⇒（主な施策）</p> <p>① スポーツ・レクリエーションの推進 青少年の健全育成や町民の心身ともに健やかな生活確保のため、誰もが自分の健康状態や年齢、体力に合わせてスポーツを楽しみ、世代間の交流が図れる活動に取り組むとともに、次世代の人材を育成していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の活動促進</li> <li>・スポーツ講演会の実施</li> <li>・ニュースポーツの普及</li> <li>・スポーツ少年団の育成</li> <li>・マスゲーム講習会等への参加</li> </ul>	<p>令和元年度～令和5年度</p>